

日本語補講

開講期間：2010年10月6日（水）より2011年1月31日（月）

平成22年度冬学期

対 象：東京大学大学院総合文化研究科、数理科学研究科、東京大学教養学部に所属する外国人留学生および外国人研究者

募集人数：各クラス約15名

開講されるクラス：以下の6クラス

R	読む	上級
W3	書く（上級）	上級
W2	書く	中級後期～上級
L	聞く話す	中級後期～上級
I1	中級前期	中級前期
I2	中級後期	中級後期

受講のための手続き：

期間：2010年10月1日（木）より10月29日（金）まで

方法：受講申込書に必要事項を記入のうえ、国際交流支援係／駒場インターナショナルオフィス・サポートセンター（アドミニストレーション棟1階）に提出のこと。なお、受講希望者は以下の日時に行われるガイダンスに必ず出席して下さい。

日本語補講ガイダンス

10月5日（火）13:00より15:00まで（5号館521教室）

10月7日（木）13:00より15:00まで（5号館513教室）

- * 授業内容についての説明とプリテストを行います。
- * 再受講の方は、オリエンテーションに出席する必要はありません。ただし、今までより上のレベルを受講希望の場合、プレテストを受ける必要がありますので、オリエンテーションに出席してください。

備 考：補講クラスですので単位認定はありませんが、3クラス以上修了したものには、修了書を発行します。

問い合わせ先：

東京大学大学院総合文化研究科・東京大学教養学部

国際交流支援係／駒場インターナショナルオフィス・サポートセンター

（アドミニストレーション棟1階）03-5454-6064

プログラム：

クラス	授業内容	担当教官	曜限	教室
R 読む (上級)	<p><u>目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 専門的な文章を読み、内容を理解し、まとめる力を養う。 <p><u>授業内容</u></p> <p>① 読解 A 授業中に配布するテキスト（主に評論文）をその場で読み、設問に答える。（40分）その後、解説をする。（50分）</p> <p>② 読解 B あらかじめ配布された専門的な文章を読み設問に答えてくる。授業では、内容の把握、ディスカッションを行う。</p> <p>課題：読解 B で扱った文章の中から好きなものを選び、本文の内容や自分の意見をレジュメにまとめる。</p> <p>授業の初回にガイダンスを行い、詳しい授業内容について説明する。</p> <p><u>参考テキスト</u></p> <p>① 読解 A 『ちくま評論選』筑摩書房</p> <p>② 読解 B 『上級日本語教科書 文化へのまなざし』東京大学 AIKOM 日本語プログラム 近藤安月子・丸山千歌編 東京大学出版会</p> <p>修了の条件</p> <ol style="list-style-type: none"> 出席：10回（全13回） 課題の提出 	いのうえひろこ 井上裕子	木 3	513

W2	書く (中級後期～上級)	<p><u>目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語で論理的な文章が書けるようになる。 ・日本語でレポートを作成する。 <p><u>授業内容</u></p> <ol style="list-style-type: none"> ① 表記の仕方 ② 文体と書きことば ③ 文章の基本（１） ④ 文章の基本（２） ⑤ 文のつながり ⑥ 段落の構成 ⑦ 比較対象する／定義する ⑧ 因果関係／手順を述べる・列挙する ⑨ 意見を述べる ⑩ 引用する ⑪ 資料を論じる ⑫ レポートを書く（１） ⑬ レポートを書く（２） <p>初めの授業のときに、授業の内容についてくわしく説明する。</p> <p><u>参考テキスト</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アルク 2. 『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエー 3. 『小論文への12のステップ』友松悦子 著 スリーエー 4. 『大学で学ぶための日本語ライティング』The Japan Times <p><u>修了の条件</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 出席：10回（全13回） 2) 課題の提出 	いのうえひろこ 井上裕子	木4	513
----	-----------------	---	-----------------	----	-----

W3	書く3 上級 (上級)	<p><u>目標</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語のレポートや論文を作成するために必要な知識と表現技術を身につける。 読み手の存在を意識することにより、文章の質を高める。 <p><u>教材</u></p> <p>アカデミック・ジャパニーズ研究会編著『大学・大学院留学生の日本語 ④論文作成編』アルク 他、配布資料</p> <p>(参考テキスト：浜田麻里・平尾得子・由井紀久子『大学生と留学生のための論文ワークブック』くろしお出版、二通信子・佐藤不二子『留学生のための論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク)</p> <p><u>内容</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 論文の構成要素 文体・表現 課題・目的の提示 定義・分類・列挙 図表の説明 原因の考察 引用 帰結・結論の提示 専門分野の論文の分析 論文作成 (1～9を学びながら、論文作成を行う) <p>【注意事項】</p> <p>このコースは、個人的なレポートや論文を添削するものではありません。日本語でレポートや論文が書けるようになるために、授業で学び、練習するものです。</p> <p>したがって、授業内容に応じた課題や作文を提出してもらうことがありますが、授業外のレポートや作文などは受け付けないので注意してください。</p>	たしる 田代ひとみ	水4	8-207
----	-------------------	--	--------------	----	-------

L	<p>聞く・話す (中級後期～ 上級)</p>	<p><u>目標</u></p> <p>時事的、文化的な事柄を扱ったニュースやドキュメンタリー、やや専門的な内容の解説や講義形式の発話などを聞いて理解し、また、その内容に関する質問に答えたり、意見を述べたりするなどの活動を通して、時事性や専門性のあるテーマについて、聞いたり話したりする力を養う。</p> <p><u>教材</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で音声を聞いたり、視聴したりする教材は、授業担当者が用意する。 ・ 必要に応じて資料等を配付する。 <p><u>授業内容</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の社会、文化、経済などに関するニュースやドキュメンタリー、まとまった内容の独話（解説、講義、発表など）等を、メモをとったり、資料を見たりしながら聞く。 ・ 聞いた内容に関する質問に答えたり、内容を要約したりする。 ・ 聞いた内容や指定されたテーマについてディスカッションを行う。 ・ 自分の考えや意見を発表する。 ・ 以上の活動の中で、新出の語や表現の意味・用法を理解し、使えるように練習する。 ・ この授業では、語の意味調べや日本語のニュースの視聴など、宿題を出す予定である。 	<p><small>あいはらじゅんこ</small> 饗場淳子</p>	水 2	8-207
---	---------------------------------	--	---	-----	-------

11	中級前期 (中級前期)	<p><u>目標</u> コースを終えたとき中級後期のレベルに到達することができるように、読解力・漢字力・表現力をつける。</p> <p><u>教材</u> テキストは、授業開始時に指示します。</p> <p><u>内容</u> 1. 長い文章を読み通す力がつくように、短い読み物から始めて段階的に長い読み物にチャレンジしていく。 2. 読み物に出てきた文型・表現を使いこなす練習をする。 3. 読み物と関連した話題について作文を書く。 4. 初級で勉強した漢字を復習しながら、さらに新しい漢字を覚えていく。 5. なめらかに会話を進めていくために必要な表現を身につける。</p>	江崎裕子	火 3	521
----	----------------	---	------	-----	-----

12	中級後期 (中級後期)	<p><u>目標</u> 読解、口頭発表、作文などの力を総合的に伸ばしていき、上級レベルに到達することを指す。</p> <p><u>教材</u> テキストは授業開始時に指示します。</p> <p><u>内容</u> 現代日本社会について考えるための切り口となるようなテーマを設定し（例、若者の感性、仕事への意識など）それに沿って、読解、資料の分析、ディスカッション、発表、作文などの活動を行う。さらに、テーマに関連がある情報を、自分で集めて分析する練習も行う。</p>	えざきゆうこ 江崎裕子	火 4	521
----	----------------	--	----------------	-----	-----

時間割：

	月	火	水	木	金
I 時限 9:00-10:30					
II 時限 10:40-12:10			L 饗場 8-207		
III 時限 13:00-14:30		I1 江崎 521		R 井上 513	
IV 時限 14:40-16:10		I2 江崎 521	W3 田代 8-207	W2 井上 513	
V 時限 16:20-17:50					

